



父と子と

SINGLE FATHER & CHILDREN



SINGLE FATHER & CHILDREN

■ 父と子と PART 1 ■

〔父子家庭というよりも・・・〕



父子家庭で育ち、
現在NPO「POPOLO」代表として、
経済的弱者の支援活動等に
携わっている鈴木和樹さん
にお話を伺いました。



鈴木和樹 さん

父も不在がち 祖母がボクを 育ててくれました

「なんで自分ばかりこんなに大変なんだろう」
と思ったこともあります・・・

生んでくれたことに感謝していて、
恨むような気持ちはないです

●まず、ご家庭のことについてお聞かせください。

3歳のときに両親が離婚しましたから、一応、父子家庭なんですが、主として祖母に育てられました。というのは、父が自由奔放な人間で、ときおりいなくなっちゃったりするんです。それで、仕方なくお婆ちゃんのところに行っていました。小学4年か5年生の頃ですね。

●それからは、お婆さんと2人暮らしですか？

そうですね。ちょうど5年生のときに、そのお婆ちゃんが脳溢血で倒れて、半身麻痺になっちゃって。貯金を切り崩して生活していたんですけど、誰か助言してくれたのか、その頃から生活保護を受けていました。

●お父さんはどんな感じの方でした？

う～ん、ぼくの中では、もう父という感覚はあまりないですね。実は今も、父は仕事していないんです。ですから、自分が父の面倒をみているような関係で、もう、親と子というよりは、人と人という感じですね。でも、生んでくれたという感謝の気持ちはあるんですよ。父親も、ぼくが困っていたら、できる範囲では助けてく

れると思うんです。だから、父と思う気持ちが半分で、他人というか、知り合いとか親せきのおじさんレベルの気持ち半分ですね。この微妙な関係は、うまく表現できません。

●憎しみのような感情はありませんか？

ないない、一切ないです。だって自分がいるのは、お父さんのおかげなんで、恨む必要がないじゃないですか。

●きちんと育ててくれなかった、とか。

育てる義務は、日本国憲法の中にはあったとしても、ぼくの中では、そういう義務があるという意識はないですからね。ぼくにはお婆ちゃんがいいたからそういう気持ちにならなかったんでしょうね。子どもを育てるのは、別に父親や母親でなければならないっていう感覚はなくて、その子を大事に思っている人であれば、誰が育ててもいいと思います。

どの子どもみんなどこかでサインを出しているはず

●子どもだった自分を振り返ってみて、どういう思いでいたのか、聞かせてください。

そうですね。簡単に表現すれば、「なんでぼくばかり、こういう状況なんだろう」とか、「なんで自分ばかり、こんなに大変なんだろう」とか、「なんで俺ばかり、お弁当がないんだろう」とか、「なんで俺ばかり、欲しい物が買えないんだろう」とか。そんなことばかり考えていた気がします。

●という、漠然とした社会に対する不満みたいなものですか？

社会とか、そんなに深く考えたことはなくて、他の親がちゃんという家がうらやましいなと。今でも友だちの家族を見たりして、「ああ

いいなあ、こういう家に生まれたかったな。」って思うんですよ。今になって振り返ってみると、お婆ちゃんの孫で良かったなって思う自分もいますけど、当時は100%「なんで自分はこんなに大変なんだろう」って思っていました。誰だって他の人と比べてしまうから、当時そう思ったのはしょうがないですよ。

●思っ、そこでどうするかってことですよ。

そこで、「どうせ自分なんか」って落ち込んでしまう人もいれば、ぼくみたいに、寂しがり屋でとりあえず周りに人を集めたがる人間もいるし、人それぞれだとは思いますが、ただ、どういう形かは分からないですけど、何かの形でサインが出ると思うんですよ。

両親でなくても 誰か支えてくれる人がそばにいればいい

父子家庭の親御さんは、悩まれることってあると思うんです。子どもに辛い思いをさせてるんじゃないかとか。そういうふうを考えるのは自然なことだと思いますけど、自分で全部背負うのは無理ですよ。だから、いろんな人の助けを借りながら子育てをしていけばいいと思います。それから、両親ともにいない家庭は愛情が少ないかという、そういうことはないと思います。ただ、子どもの側に誰もいないとなると、ぼくの場合みたいに、親子関係がすごくいびつな関係になってしまうかもしれません。

ぼくがやっているNPO「POPOLLO」の相談でも、お子さんを連れて生活保護の相談に来る方がいるんですけど、そのお子さんが保育園や幼稚園に行けていない、つまり子どもが家庭という世界しか知らずに育てているケースもすごく多いですよ。

ひとり親で子育てをするということが、今ではそんなに珍しくなくなってきていると思います。

少しずつですけれども、行政のバックアップ体制も整ってきているし、そういう支援制度を使いながら、うまくやっていくことができればいいのかなど。ぼくの場合は、金銭的な問題と、母親に会えなかったことが心に大きく残っているけれど、ただお婆ちゃんがいてくれたことが支えでした。でも、いろんなひとり親家庭の方に、支えてくれる人がいるとは限らないので、ともに助け合って、支え合ったりできる場が、もっといろいろあるといいと思います。

誰にも頼れなかったし 誰にもワガママを言えなかった

●子どもの頃に、お父さんに何をしたいですか？

とにかく側にいて欲しかったですね。いっしょに遊びに行ったりとか。みんなはデパートとかにも行ってるのに、どこにも行ってないんですよ。たまにでいいので、普通の家庭のように遊びに行ったりしたかったですね。だから、自分が支援している方々には、「子どものことをまず第一に」と、よく言っています。

ぼくが救われたのは、お婆ちゃんがいたことだと思うんですよ。もしお婆ちゃんがいなかったら、誰にも頼れなかったし、誰にも本音を言えなかったし、誰にもワガママを言えなかった。そこはきっと、他のひとり親家庭の方に通じるところがあると思うんですよ。お父さんの頑張りや苦労を見てるから、ワガママを言わずに我慢するような、子どもらしさを押し隠さなきゃいけない部分があるので、そういうワガママが言えるような、子どもらしさを出せる環境が作ればいいのかなど思ったりします。

とにかく親子や家庭の形って、こうあるべきだっていうものはないと思うんです。とは言っても、誰か理解者は必要でしょうね。子どもがどんなことを望んでいるのかとか、何を考え、

何を思っているのか。それを理解する人が必要です。ぼくは、お父さんと何も対話ができなくて、その日あったことを誰にも聞いてもらえなくて、すごく辛かった覚えがあります。

対話することで お互いを理解することができる

●でも、いまの子どもは、あんまり話したがないのでは？

それは、親が聞く耳をもたなくて、自分の考えを押しつけたがるからだだと思います。なんでもない、たわいない会話でいいんですよ。今日こんなことあったんだよとか、そんなことを、しっかり話して欲しい。やっぱり人間ってしゃべらないと、どうしても心に溝ができちゃうから。

ぼくの場合、お婆ちゃんは本当にうるさかったんですよ。ぼくは、お婆ちゃんの朝から晩までの話を毎日聞かされていて、そのときはイヤでイヤでしょうがなかったんです、長いから(笑)。だけど、そういうことからお婆ちゃんのことを分かっていくんですね。あ、この人はグリーンピースの豆ごはんが好きで、だからよく作るんだとか。この人は怒りっぽいんだとか。怒ると、すぐ「いい、いい」って電話切っちゃう人なんだとか。

人間って、対話をしないと分からないことがあるんですよ。ぼくは、自分からお婆ちゃんに話すってことはそんなに多くなかったかもしれないけど、お婆ちゃんの話は良く分かったわけです。だから、お互いのことをとてもよく分かっている親子っていうのは、すごく強い絆で結ばれているっていうことなんじゃないかと思っています。

今日はお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

今後もNPO活動など頑張ってください。

SINGLE FATHER & CHILDREN

■ 父と子と PART 2 ■ 〔お父さんの つぶやき〕

本誌では、匿名を条件に、お二人の父子家庭のお父さんからご意見をいただきました。

当事者として、貴重なご意見を提供していただいたお二人のお父さんに心から御礼申し上げます。



市内在住の造形作家 tatalianoさんに
頑張るお父さんの4コマ漫画を描いていただきました。



**掃除・洗濯・料理と子育てで
仕事を見つけるのが困難
女性の大変さが理解できました**

Aさん (38歳) 市内在住

私の家庭は、長女（8歳）と次女（6歳）の3人家族です。

長女が学校にうまくなじめず不登校気味なので、家に残して働きに出ることもできず、現在、自宅でもできる仕事を探しています。しかし、景気も悪い中、なかなか思うように仕事が見つからないのが現状です。経済的な面ではとても苦労しています。

いま、児童扶養手当を受けていますが、子どもが1人の場合と2人の場合では、月額5,000円しか変わらないので、もう少し経済的な支援を充実してもらえると助かります。

離婚する前は、家事の多くを妻にお願いしていたので、父子家庭になってから、主婦の大変さがよく理解できました。

自分のように、掃除・洗濯・食事など家事のすべてをやっている男性はそう多くはいないでしょうが、娘たちが将来結婚を考えるようになったときには、少なくともそういった家事全般の大変さを理解してくれる男性と出会って欲しいと思います。

また、現在、両親や一部の親戚から理解が得られないので、精神的に辛いときがあります。

苦労も多いですが、姉や母子家庭の友人は、悩みがあるときは相談に乗ってくれるため、とても頼りにしています。

そういった経験から、娘たちには、大きくなってからもずっと、仲良く、お互いに助け合って生きて欲しいと伝えています。

子育ての上では、常に愛情深く接することを心がけています。また、どんなことでも、率直に話し合える親子でありたいと思います。

「父子家庭の子だから可哀想」と思われたくないためにボタン付けまで気を遣って

Bさん (44歳) 市内在住

3年ほど前から当時5歳の長男と3歳の長女と3人で実家のある静岡に戻り、両親と5人で暮らしています。

息子がADHD（注意欠陥多動障害）を抱えるため、毎週の通級教室の送迎や、学校からの呼び出しがたびたびあります。家では勉強をみてあげたいのですが、なかなか時間を作れずに苦労しています。また「あそこは父子家庭だから…」という見られ方だけは絶対にされたくないで色々な事に気を遣っています。

例えば、靴や上靴は週に1度必ず洗うように

していますし、シャツのアイロン掛けやボタン付けなど「可哀想に…」と思われる事の無いように心掛け、年賀状は連絡網からクラス全員に連絡して住所を確認し、毎年前年以上に送るよう心掛けています。ちょっと神経質過ぎるかもしれませんね…。

行政には年収だけに捉われず母子家庭と同じ支援を父子家庭にもお願いしたいと思います。母子家庭の方も色々大変だとは思いますが、同じくらい父子家庭も大変です。特に、それまで家事をやってこなかった男性が父子家庭になった場合は、慣れない事だらけで苦労します。やってみて初めて分かることが実はたくさんあるからです。

子ども達には母親がいない事で、寂しい思いもたくさんさせていると思います。「パパは二人にパパとママ役で関わる事ができ、とても嬉しく思っています。そして君達にも今まで以上に満足してもらえよう、これからも頑張っていきます。」これが私から子ども達へのメッセージです。

～シングルパパ同士の交流を！～

「シングルパパ同士で交流したいけど、どうすればいいの？」と思う方もいらっしゃると思います。

市内では、静岡市社会福祉協議会が、父子家庭の父親同士の交流を図るため、平成6年度から「父子家庭交流事業」を始め、遠足やキャンプ、バス旅行など、親子と一緒に



父子家庭交流事業の風景

楽しむようなレクリエーションを実施してきました。

しかし、参加者の減少により、平成22年を最後に「父子家庭交流事業」は終了となりました。

現在行われている交流事業としては、静岡市母子寡婦福祉会による「ひとり親家庭交流事業」があります。母子家庭とともに父子家庭も参加可能で、実際に交流事業に参加されている父子家庭の方もいるということです。

今後、再びシングルパパ同士の交流が活発になってくれば、「父子家庭のための交流事業」が復活するかもしれませんね。

楽しむようなレクリエーションを実施してきました。

しかし、参加者の減少により、平成22年を最後に「父子家庭交流事業」は終了となりました。

現在行われている交流事業としては、静岡市母子寡婦福祉会による「ひとり親家庭交流事業」があります。母子家庭とともに父子家庭も参加可能で、実際に交流事業に参加されている父子家庭の方もいるということです。

今後、再びシングルパパ同士の交流が活発になってくれば、「父子家庭のための交流事業」が復活するかもしれませんね。

○静岡市母子寡婦福祉会の連絡先はこちら

TEL 054-221-1565（葵区役所保育児童課内）

男女共同参画社会の実現のためにも 父子家庭支援を真剣に!!



NPO法人 全国父子家庭支援連絡会
代表理事 **片山 知行** さん

日本には、約20万世帯の父子家庭が存在するといわれています。そのうち、父と子どもだけで生活する父子世帯は、約8万9千世帯です。日本の世帯数は約3,500万世帯（単身世帯を除く）ですので、父子世帯は極めて少数派であるといえます。

また、一般的に、女性（母親）より男性（父親）のほうが所得が高いことから、母子家庭と比べ、父子家庭の公的支援が遅れているのではないのでしょうか。

父子家庭支援を行っている、「シングル・ファーザーは男性なので、雇用も所得も高く、安定しているのでは？」という声を聞きます。しかし、これは昔の話です。

もちろん、安定した暮らしを営んでいる父子家庭も存在しますが、今の日本社会は、リーマンショックで金融資本主義が破綻し、経済規模が縮小、疲弊しており、その煽りを受けるのがシングル・ファーザーかもしれません。

生活に家事・育児が伴うため、早出、残業、出張が極めて困難で、残業依存体質、減私奉公を良しとする企業ではリストラ対象となり、長

時間労働ができず職場に居づらく、自ら職を辞するシングル・ファーザーも多いのです。

このように、男性が家事・育児をすることに理解が乏しい社会で、シングル・ファーザーが安定した仕事を確保することの難しさは容易に想像ができます。

しかし、母子家庭の母には看護師や介護福祉士等の資格取得のための就労支援制度として「高等技能訓練促進費等事業」がありますが、父子家庭の父は該当しません。また、「母子福祉資金貸付制度」も父子家庭は対象外です。

さらに、未だ記憶に新しい3.11の東日本大震災では、多くの死別ひとり親家庭が生まれましたが、これも死別母子家庭には「遺族基礎年金」が支給される一方、父子家庭には実質的に支給されないというのが現状です。

生活自立支援にあたる児童扶養手当は、ようやく父子家庭も対象になりましたが、就労支援などの公的支援制度や遺族基礎年金等の制度改定も急がれます。

さらには、多くのシングル・ファーザーは相談相手が少なく、園や学校、地域でも孤立しがちですが、良い意味での「おせっかい」が心のサポートになります。身近に頑張っているシングルパパさんが居たら、声をかけてみてください。

少数派であるが故に、支援の対象外にあった「父子家庭支援」を真剣に考える時期にきています。それが、男女共同参画社会の実現に重要なミッションのひとつではないのでしょうか。

片山 知行 (かたやま ともゆき)

全国父子家庭支援連絡会代表理事
ユニテッド・プラス(株)代表取締役
男女共同参画、少子化問題、子どもの貧困、
子育て(保健、福祉、ノウハウ)など講演多数。
平成23年8月～10月には、静岡新聞にコラム「シングル
パパはカッコイイ!」を掲載した。
○全国父子家庭支援連絡会ホームページ
<http://www.zenfushiren.jp/>

男女共同参画フォーラムin静岡 を開催しました

9月30日に、内閣府との共催で「男女共同参画フォーラムin静岡」『男女共同参画社会の実現を目指して』を開催しました。

基調講演では、(有)国際宇宙サービス代表取締役社長で、元宇宙飛行士の山崎直子さんの夫の山崎大地さんにより「家族で叶えた宇宙への夢」と題した講演が行われました。

山崎さんは、妻の宇宙飛行士になるという夢の実現のため、仕事・家庭・育児・両親の介護等の経験をもとに、試行錯誤を繰り返し、様々な苦難を乗り越えながら家庭を支えてきた経緯についてお話されました。

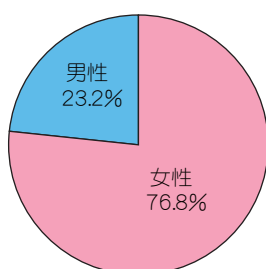


さらに、静岡県立大学の犬塚協太教授のコーディネートのもと、山崎大地さん、静岡大学名誉教授の大村知子さん、(株)静岡銀行経営管理部給与厚生グループ長の鈴木秀行さん、(株)静岡第一テレビ営業局営業推進部の橋本恵子さんによる「女性の活躍促進とワーク・ライフ・バランス」というテーマのパネルディスカッションが行われました。

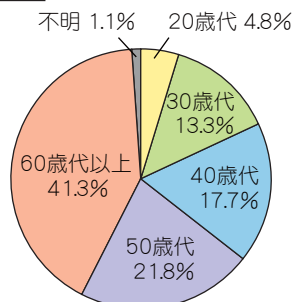
パネルディスカッションでは、パネリストの皆さんが、各々の具体的な取り組みについてお話され、研究者・企業・被雇用者・男性といった立場の異なった視点により、成果と課題について活発な意見交換が行われました。

○参加者アンケートから

1 性別



2 年代



3 参加者の方からの感想（一部）

- ・なかなか男女共同参画は難しいと思っている人が多いです。本当に基本的なことだと思います。今日はいろいろと勉強になりました。
- ・山崎さんのあらゆることへ取り組むチャレンジ精神に、とても共感できました。今後の生活に生かしていきたいです。
- ・本日より少し家事をします。
- ・息子夫婦がこれから育児に取り掛かります。親として、いろいろ応援していきたい。
- ・子育てをしながら、職業を続けられる社会の実現が感じられます。このような会が持たれることは大変意義のあることだと思います。

平成23年度静岡市ワーク・ライフ・バランス推進事業所表彰

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）は、子育てや介護に直面している人だけではなく、豊かな生活を送るため、全ての組織、人に関わる大切なテーマです。

静岡市では、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に関する取組を積極的に実施している事業所を表彰する「ワーク・ライフ・バランス推進事業所表彰」を平成21年度より実施しています。

平成24年1月23日に、平成23年度のワーク・ライフ・バランス推進事業所表彰の表彰式が行われ、田辺市長から受賞事業所3社の代表者に対し、表彰盾と記念品が贈られました。

平成23年度 静岡市ワーク・ライフ・バランス表彰事業所

大賞 静岡ガス株式会社

（所在地 静岡市駿河区、業種：都市ガス業、従業員数：678名）

特別賞 株式会社レ・サンク

（所在地 静岡市葵区、業種：デザイン業、従業員数：10名）

奨励賞 株式会社食鮮館タイヨー

（所在地 静岡市葵区、業種：小売業、従業員数：1,008名）

受賞された皆様、おめでとうございます。



写真左から
株式会社静岡ガス
代表取締役社長 戸野谷 宏様
株式会社レ・サンク
代表取締役 田嶋 清子様
田辺 信宏 静岡市長
株式会社食鮮館タイヨー
取締役営業部長 望月 清人様

受賞事業所の名称や取組内容等については、ホームページをご覧ください。

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/shogyorousei/wlb2.html>

次ページで、大賞を受賞された静岡ガス様の取組を紹介しています。

女性の力を活かし、 地域に貢献する人材を育てる

静岡ガス



左から 静岡ガス(株)コーポレートサービス部
労務担当マネジャー 河村真行様
人材開発担当マネジャー 藤村利也様

平成23年度ワーク・ライフ・バランス大賞を受賞された静岡ガス様にお話を伺いました。

「森のほいくえん」の開設

平成22年7月に、静岡銀行様、静岡鉄道様と共同で、事業所内保育施設「森のほいくえん」を開設しました。もともと当社では、女性社員は結婚や出産を機に退職するケースが多く、近年益々重要な存在となってきた女性社員の退職は、会社にとって大きな損失でした。退職せずに働き続け、しっかりキャリアを積んでもらうためには、お子さんを預かり健やかに育てる環境が必要であるという問題意識を当時の弊社社長が持っていたところ、他の2社トップの



3社で開設した事業所内保育施設「森のほいくえん」

方々も同様の認識を強くお持ちであったことから、このプロジェクトが立ち上がりました。

業態の違う3社でのプロジェクトですので、多くの課題もありましたが、これが実現に至ったのは、やはり3社トップの強い意志があったからこそだと思います。



「森のほいくえん」保育風景

女性のキャリアアップ推進

昨年の初めに、社長を委員長とする「女性のキャリアアップ推進委員会」を立ち上げ、女性のキャリアアップや職域拡大のためにはどのような問題があるのかを明らかにし、解決策を探る取組を行っています。

都市ガス業という業態上、これまでは「ガスを作る」ということに重きが置かれ、男性主体の雰囲気がありました。これからはいかにガスを使ってもらえるかというような、ソフト面に着目したセールスが必要になると考えています。そのためには女性の目線が非常に重要で、これまで男性中心であった営業部門にも少しずつ女性を配置しています。

女性管理職はまだ多くはありませんが、女性が長く働き続けることができるようになることで、今後は管理職にも多くの女性が現われてくるのではないかと思います。

育児休業の取得

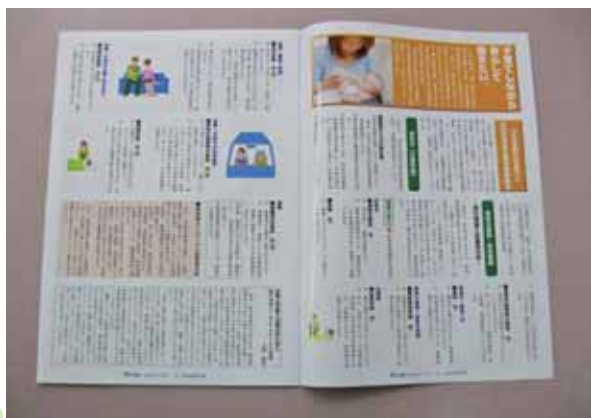
女性の育児休業については、平成17年からこれまでの間、100%の方が取得している状況で

す。現在は、4名が育児休業中で、3名が産前休暇を取得しています。さらに、11名の社員が育児短時間勤務を利用しています。

また、昨年には、男性社員が育児休業を取得しました。男性の育児休業取得には、職場の理解が得られないと難しい部分がありますが、徐々に男性の育児参加についての意識が浸透してきた結果だと思えます。最近では、実際に「男性でも育児休業が取得できるのか」といった問い合わせがあるようになり、社員の間にも関心が高まっていることを実感します。

社内報で制度を周知

会社として各種の制度を用意しても、利用されないと意味がありません。そのため、社内報を活用して、社員にワーク・ライフ・バランスに関する様々な制度の周知を図っています。社内報ではこれまで、「定時退社日」や「連続休暇制度」それに「男性の育児参加の取組」などを掲載してきました。



社内報に掲載された仕事と子育ての両立に関する記事

今後の課題・取組

今後の課題は、時間外勤務のさらなる削減です。終業時刻までに仕事を終わらせるのが本来の姿ですが、まだそういう意識が十分に浸透していない面もあるので、時間内に仕事を終わらせるという意識改革を行っていきたいと考えています。



静岡ガス エネリア静岡ショールーム

ワーク・ライフ・バランスの推進により、短期的には社員一人ひとりの余暇の充実、そして家庭生活の充実により、生産性の向上やモチベーション維持につながることを期待しています。また、長期的には、こういった取組をアピールすることにより、意欲的な人材の確保につながればと考えています。さらには、家庭を一步飛び出して、地域に貢献し、地域を活性化できるような人材が育ってくれればと思います。

静岡ガス株式会社

事業内容：都市ガス業

所在地：静岡市駿河区八幡1-5-38

電話番号：054(284)4141(代表)

従業員数：678名(男性564名、女性114名)

ホームページ：<http://www.shizuokagas.co.jp/>

次世代認定マーク（愛称：くるみん）

次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の条件を満たした場合に、厚生労働大臣から「子育てサポート企業」として認定を受けると利用できるマークです。市内では現在、静岡ガスを含めて、9社が認定されています。



☆データでみる世界の中の日本☆

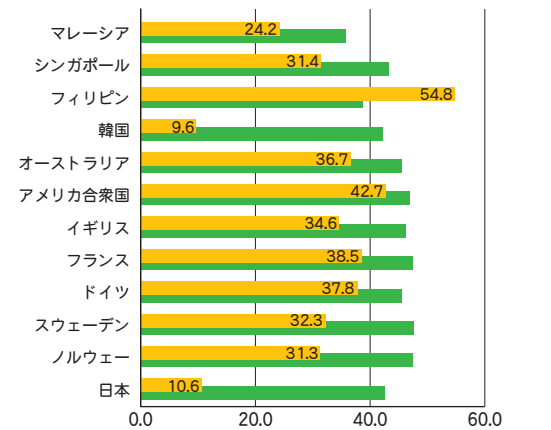
～欧米に比べ低い日本の「指導的立場にいる女性の割合」～

日本の就業者に占める女性の割合は、42.2%と諸外国と同水準ですが、女性の管理的職業従事者に占める割合は、10.6%と欧米（30%～40%）に比べ著しく低く、フィリピン、マレーシア等のアジア諸国よりも低くなっています。

国では、「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性の占める割合が、少なくとも30%程度になるように期待する」という目標を掲げ、現在、ポジティブ・アクション（積極的改善措置）による取組を推進しています。

就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合

■ 管理的職業従事者に占める女性の割合 ■ 就業者に占める女性の割合



ポジティブ・アクション（積極的改善措置）って？

固定的な性別役割分担意識や過去の経緯から生まれた男女間の格差を解消するために行う、自主的かつ積極的な取組のことを言います。

過去の慣習等により生じた男女の格差の解消を図るためには、法律等で男女差別を禁止するだけでは困難なため、より積極的な改善の取組が必要とされています。

なお、ポジティブ・アクションは、あくまで活動に参画する機会についての男女間の格差が解消されるまでの暫定的な措置です。

より詳しくお知りになりたい場合は、「ポジティブ・アクション情報ポータルサイト」をご覧ください。

ポジティブ・アクション情報ポータルサイト <http://www.positiveaction.jp/>

編集後記

- ・企業も行政も、もっともっと子育て世代にやさしい仕組みを取り入れて欲しいと切に感じました。(Y)
- ・子育て中に起こる問題を乗り越えていくのに、ひとり親家庭の場合は大変なことと思います。子どもを守る立場からの様々な支援が、もっと必要だと感じました。(R)
- ・身近なところからの声かけ、コミュニケーション、人とつながることの大切さを感じました。まずは出来ることから始めます。(M)
- ・父子家庭のお父さん、頑張りすぎないでくださいね。お子さんにとってもお父さんはかけがえのない存在なのですから。(K)

パザパ18号のご感想をお寄せください。

〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡市役所 生活文化局 市民生活部 男女共同参画課

TEL: 054-221-1349 FAX: 054-221-1782 E-mail: sankaku@city.shizuoka.lg.jp